

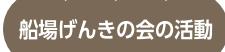


船場をこよなく愛するグループ(商店会、まちづくり団体、異業種交流会、NPO、研究会など)の集まりで、柔らかな連携を通して、より魅力ある船場のまちづくりを目指しています。

□設立: 2004年9月3日

□会員: 25 グループ (2017年5月時点)

大阪船場井池卸連盟／大阪船場ロータリークラブ／環境デザインE.M.I.プロジェクト／関西ミュージックリンク協会／北船場くらぶ／協同組合大阪久宝寺町卸連盟／三休橋筋愛好会／三休橋筋発展会／船場クリエイティブ・ポート推進協議会／船場経済俱楽部／船場研究会／船場三水会／せんば心斎橋筋協同組合／船場センタービル連盟／せんば鎮守の杜芸術祭プロジェクト／船場賑わいの会／太閤路地プロジェクト／東横堀川水辺再生協議会／御堂筋まちづくりネットワーク／南船場グローカル俱楽部／MORISEN／淀屋研究会／老舗学研究会／寄合びんご／心斎橋筋北商店街振興組合(25グループ順不同)



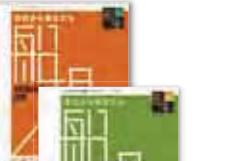
会員グループの定期的な情報交換のほか、有志メンバーを中心にグループを超えたイベントや活動に取り組んでいます。



船場フォーラム



船場まつり



船場アーカイブス委員会
船場ガイドブック



船場まち歩き隊



船場アーカイブス委員会

船場げんきの会に参加するには

活動への参加希望のお問い合わせなど、詳しくは「船場げんきの会ホームページ」をご覧ください。

船場げんきの会

検索

<http://semba-genki.net/>



船場フォーラム2017 実施概要

第13回

「子どもの船場・おとなとの船場」

「船場」について語り合う場として、2005年にスタートした船場フォーラム。第13回は“世代や立場を超えて繋がれたら、船場はもっと楽しくなる！”そんな想いから、船場の「子ども」と「おとな」に着目しました。

□開催日 2017年3月11日(土)

□フォーラム 14:00~17:00(開場13:30)

□交流会 17:30~19:00

北御堂 津村ホール

WOOL本町ピヤーケード

□プログラム 子どもの居場所・おとなの居場所トークショー

船場フォトムービー 2017

船場交流タイム

モニターによる船場まち歩き(プレイベント)

主催: 船場げんきの会 協力: 大阪市中央区役所、本願寺津村別院(北御堂)、船場俱楽部

協賛: 大阪ガス(株)、辰野(株)、大阪船場ロータリークラブ、大阪ガス都市開発(株)、(株)安井建築設計事務所(社)大阪ビルディング協会、(株)大西、(株)伊藤園、田辺三菱製薬(株)、(有)五感、コニシ(株)、丸一商店(株)、船場経済俱楽部、寄合びんご、せんば心斎橋筋協同組合、老舗学研究会、船場連合振興町会

当事業は、東教育財団の平成28年度地域文化事業助成を受けています

船場について

船場は、キタとミナミの真ん中に位置して、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は長堀通、西は旧西横堀川(現阪神高速道)に囲まれたエリアです。江戸時代、「天下の台所」といわれ栄えた大阪の経済・文化の中心地でした。今も碁盤目状の街区が残り、古い歴史と豊かな市民文化が息づくまちです。

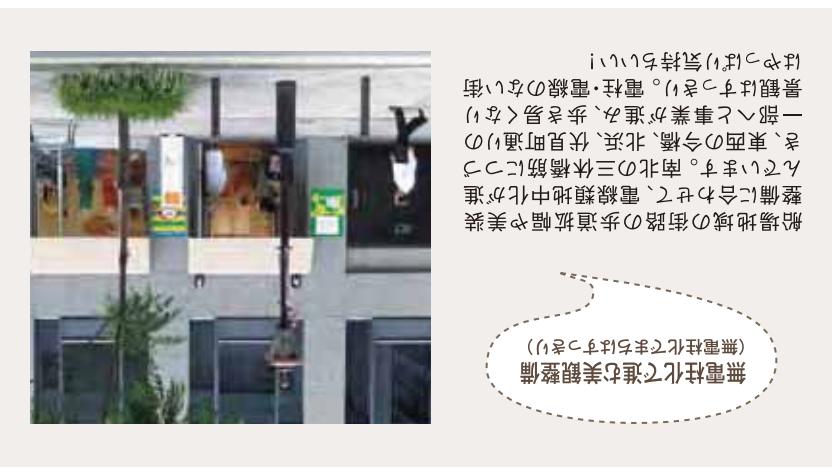


2017年6月発行

おとなの船場

REPORT

船場フォーラム 2017 レポート



船場Topics



永井 一弘さん
13年前から船場にお住まい

嬉しがりの新住民代表です

堺筋沿いで法律事務所を経営していますが、事務所の向かい側にタワーマンションが建つと聞いて、家も引っ越ししてきました。

マンションの住民の方々とは、気質やライフスタイルが似ていて打ち解けやすいです。近所の飲食店などで、もともとの船場住民の方や、他のマンションの方と交流を深める機会も多いです。



永井 麻生子さん
13年前から船場にお住まい

船場はいつも新しい発見があります

船場の飲食店はフレンドリーで、女性一人でも安心して入れる雰囲気があります。普段何気なく通っているお店が、実は台湾の書籍で紹介されていて、知らないうちに世界的に有名になっていたりします。

午前中のまち歩きでも感じましたが、大抵の場所は訪ねたつもりでも、いつも新しい発見があるのが船場です。



出崎 栄三さん
シュール・ムジユールデサキ

船場・北浜の老舗から
新しいまちづくりを発信しています

家業は創業103年目で、1世紀にわたって船場界隈で織維・アパレルの商売をしてきました。三代目の私は生まれも育ちも芦屋ですが、周りに船場の文化が残っています。

土佐堀川沿いのオフィスで、昭和初期の映像の上映会やまちライブラリーのイベントをすると、近くのタワーマンションの方が来られることもあります。

おとのの居場所 トークショー

船場を使いこなす、おとのの楽しみ方について語っていただきました。



コメンテーター 鳴海 邦穎
大阪大学名誉教授

船場は「グッドプレイス」で溢れています

人々が和める空間、特に、そのまちに古くから住んでいる人と、新しく来た人、たまたま来た人が同時に楽しめる場所 =「サードプレイス」「グッドプレイス」が注目を浴びていますが、船場にもたくさんありますね。これからも新しい形で育っていってほしいです。



インタビュアー 高橋 愛典
5年前から船場にお住まい

船場のおとのすごさを実感しました

船場にいると「すごいおとな」と日頃からそれ違っている、そのこと自体が「すごい」のだと、船場を代表する「おとな」の方々にお話を伺って実感しました。皆さんから、ステレオタイプの大坂のイメージとは違う、船場の「おとのなたしなみ」を学ぶことができました。

まとめ

船場の文化がつながっていくために

おとなもこどもも、船場らしい暮らしとして「顔が見える」、「本物に触れる」、「丁寧に生きる」などが共通のキーワードとして出てきました。

船場も変化していくますが、そのような変化に対して、我々はしなやかに対応していくことが大切だということをみんなで確認しました。

イベント モニターによる 船場まち歩き

『上質なおとのまちを歩く』をテーマに
モニターの方々と船場を巡りました



10:00
北浜

大阪証券取引所に集合



手作りの水引飾りや、絵図などを9代目からご紹介

渋谷利兵衛商店

高麗橋西詰
渋谷利兵衛商店は享保9年創業の結納用品のお店



船場ことばの資料館である「門」にて振り返り

11:30
道修町



モリタ万年筆店

高麗橋2丁目
モリタ万年筆店は昭和21年創業

万年筆ファンの間では有名で、海外からのお客様も多いそ

まち歩き後、モニターの方から実際に万年筆を買いたいに行ったと報告がありました!

参加者の声

- 何気なく通り過ぎていたお店のそれぞれに歴史があることがわかって、もっと船場を知りたくなりました。
- 渋谷さん、モリタさんの誠実なお人柄に触れて、こういいう人の手がけたものを買いたいと思いました。

こどもの船場 おとのの船場

こどもの居場所 トークショー

船場で育つこどもたちについて、現在船場で唯一の小学校、開平小学校を中心語っていただきました。



コメンテーター 橋爪 純也
船場げんきの会代表世話人・大阪府立大学教授

多様な都心で育つことは、こどもの誇りになる

これまで、人が減っているときの学校のあり方を経験してきましたが、これから増えるときにどう変わっていくのかということを考えなければいけません。みんなで都心にこどもたちの居場所をつくっていかなければいけないと思います。



インタビュアー 杉本 容子
ワイキューブ・ラボ

子育て中のお母さんも

みんなの協力があればまちづくりに参加できる
私も子育て中ですが、みなさんの協力でフォーラムに参加することができました。船場での子育ては都心すぎて難しいんじゃないかなと思っていましたが、歴史や文化に立脚した他にない良さがあることがよくわかりました。



嘉名 光市
大阪市立大学教授



赤銅 久和さん
開平小学校校長

地域あっての学校。船場で学んだ誇りを大事にしてほしい地域で育まれている実感がとても強い学校だと思います。昔の船場のまちの様子や人々の暮らしを6年かけて勉強することも、学校教育の1つの大きな柱にしています。

毎週、全校児童で合唱する「音楽朝会」を行っており、学年を越えてみんな顔見知りで仲がいいのが開平小学校の伝統です。



井戸垣 潤さん
開平小学校97年卒業生・歯科医師

はみがきじゅんの愛称でのボランティア活動に
開平小学校での経験が生きています

開平小学校には学級代表運営委員会があり、1年生も6年生も楽しめる企画を児童自ら考えていました。人数が少ないので、企画から実行までがすごく早い。

いかに休み時間楽しくするかが僕たちの関心で、こどもの世界では古い住民と新しい住民といった境目はありませんでした。

初 キッズスペースあります！



お子様連れでも気軽に参加しやすいう、集英地域子育て応援団の協力を得て、キッズスペースを初めて設置しました！



船場交流タイム

トークショーの合間に、参加者が自由に見学・交流を楽しめる「船場交流タイム」を実施しました。



「こどもの船場」「おとのの船場」



「船場の活動」ブース



(株)伊藤園：お~いお茶



田辺三菱製薬(株)：アスピラドリンク



(有)五感：こぶしやり



コニシ(株)：木工用ボンド



丸一商店(株)：カレンダー

中央区役所：オレンジリボンキャンペーンボールペン

参加者の声

- 今回も船場の魅力を感じました。(60代、女)
- タワーマンション(新住民)の方々の増えた参加を期待しています。(50代、男)
- 30～40代の若い人の参加が増えれば雰囲気がまた変わるものかもしれません。人が少ない土日の街が好きです。(40代、男)
- 生粋の「船場の商人」を大切に守っていって欲しい。物・人・心を次世代につなぎ、全国に発信してほしいと思います。(60代、女)